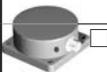


製品構成

形状	検出距離 (mm)	掲載ページ		
		電圧出力 0...10V	電流出力 4...20mA	
	M8	1.5	78	-
	M12	2	78	78
		4	78	-
	M18	5	79	79
		8	79	-
	M30	10	80	-
	PG36	20	80	-
	□ 80	50	80	-

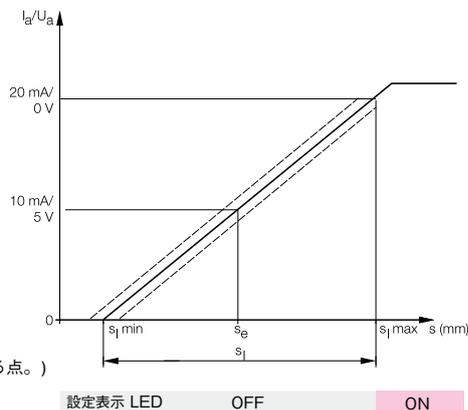
特別仕様			
0...10V のアナログ出力に加え、3 点のスイッチ信号が設定可能。			
円柱形	検出距離 (mm)	電圧出力 0...10V	N.O. x 3
M18	5		81

用語解説

**リニア範囲 (SI)** 仕様に表示する所定のリニアリティで出力が得られる検出範囲。本カタログ記載のアナログセンサは、検出範囲とリニア範囲が同一で、その特性曲線は、右図のようになっています。

**定格検出距離 (Se)** 各仕様を確定するための基準位置で、リニア範囲の中間点。

S = 検出範囲  
SI = リニア範囲  
Se = 定格検出距離 = 出力が中間となる位置  
(電圧出力=0...10V の場合、出力が 5V となる点。)



**温度係数 (Tk)** 仕様の温度範囲において、温度変化により出力が変動する値。

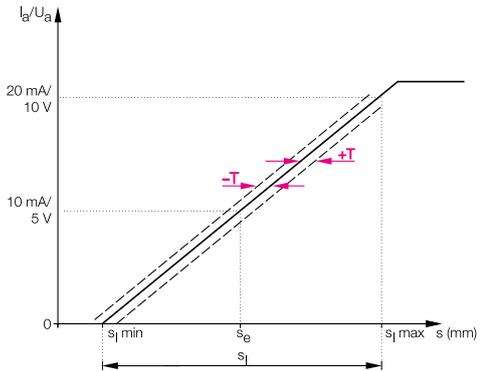
**リニアリティ** 検出位置と出力が完全に比例する理想の出力直線を基準とし、実際の出力がどれだけのズレる可能性があるかを示す、誤差の最大値。

**応答周波数 (-3dB)** 検出体の位置が連続的に変化する場合、出力が追従できる限界の速度で、出力が -3dB に減少する時の周波数。

- 測定速度 検出体がある速度で移動する場合、検出体との距離を確実に測定できる速度
- 応答時間 確定した信号を出力するためにセンサが必要とする時間。
- 負荷抵抗 アナログ出力に接続できる抵抗の許容値。
- 繰り返し精度 (R) 近接スイッチと同じ条件下で測定された出力の変動値。  
規格 (EN60947-5-2) では、測定範囲の上限に対し 5% 以下とされている。
- 特性のバラツキ (T) 特性曲線に対して製品個々のバラツキは、下表のような値になります。

サイズ	シールド A	ノンシールド
M8	± 0.1mm	
M12	± 0.125mm	± 0.25mm
M18	± 0.3mm	± 0.5mm
M30	± 0.6mm	± 0.8mm
80x80x40	± 1.0mm	
PG36	± 0.1mm	

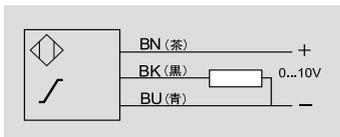
- S = 検出範囲  
SI = リニア範囲  
Se = 出力が中間となる位置  
T = 製品個々のバラツキ



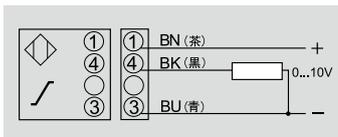
配線図

電圧出力仕様

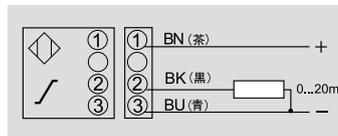
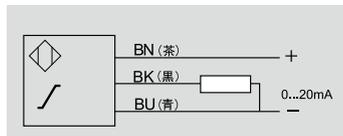
ケーブル接続



コネクタ接続



電流出力仕様



製品構成

技術資料

一般仕様

特別仕様